

令和4年度 神奈川労働局安全衛生表彰式を開催

7月7日午後1時30分から北仲の第二合同庁舎共用会議室において、安全衛生表彰式が開催され、令和4年度における厚生労働大臣の各賞の披露及び伝達と神奈川労働局長による各賞の表彰状授与が行われました。

建設業関係では厚生労働大臣の優良賞が5現場、神奈川労働局長による優良賞は2現場でした。



厚生労働大臣優良賞



- 左から**
株式会社竹中工務店 横浜支店
 川澄化学工業株式会社本社・研究開発拠点新築工事
株式会社長谷工コーポレーション
 (仮称)大和市つきみ野1丁目計画新築工事

- 戸田建設株式会社 横浜支店**
 株式会社村田製作所みなとみらいイノベーションセンター建設工事
清水建設・湘南造園・エス・ケイ・ディ建設工事共同企業体
 見附台周辺地区整備・管理運営事業(A・Cブロック)整備工事平塚文化芸術ホール新築工事・見附台公園29整備工事
東亜建設工業株式会社 東日本建築支店
 プロロジスパーク海老名2プロジェクト

神奈川労働局長優良賞

- JFEエンジニアリング株式会社**
 横浜市北部汚泥資源化センター汚泥処理・有効利用事業



- 戸田建設株式会社 横浜支店**
 瀬谷駅南口第1地区第一種市街地再開発事業に伴う施設建築物新築



正副運営委員長・部長会議を開催

7月7日午後4時から建設会館311会議室において、正副運営委員長・部会長による会議が開催されました。

主な議事は令和4年度における表彰について、第57回となる神奈川県建設業労働災害防止大会の開催にかかる問題です。

昨年も新型コロナウイルス感染防止対策の関係から人が大勢集まる大会の開催のについて議論されましたが、本年も厳しい状況は変わらず、開催に当たっては慎重な議論と、

内容、感染防止対策の徹底した形式での開催が必要であることがあらためて意思統一され、基本的には昨年同様に、参加者を絞り(会場定員433名の半数程度の216名を目安)、なおかつ参加者を全て把握した上で行う、時間短縮のため、開会宣言、閉会宣言、特別講演等は行わない、など開催する場合における方針が確認されました。

表彰に関しては例年どおり分会・団体宛に推薦依頼を行うことも併せて確認されました。

☆建設業における署別労働災害発生状況☆ (休業4日以上)

神奈川労働局 令和4年7月末現在

| 署業種 | 横浜南 | 鶴見 | 川崎南 | 川崎北 | 横須賀 | 横浜北 | 平塚 | 藤沢 | 小田原 | 厚木 | 相模原 | 横浜西 | 合計 |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|-----|
| 3年 | 30 | 6 | 39 | 25 | 28 | 78 | 18 | 40 | 30 | 30 | 32 | 38 | 394 |
| | | | (1) | (1) | | | | (1) | | | | | 3 |
| 前年 | 34 | 11 | 20 | 36 | 23 | 42 | 31 | 34 | 24 | 32 | 28 | 40 | 355 |
| | (1) | | (1) | | | (1) | | (1) | (3) | | (1) | (2) | 10 |

(注) 労働者死傷病報告による、()内は死亡者数である。

☆死亡災害発生状況☆

令和4年8月22日現在

| | 死亡災害把握数 | | | 死亡災害件数 | | |
|----------|----------|------------|-------------|--------|---------|--------|
| | 本年(令和4年) | 前年同期(令和3年) | 前々年同期(令和2年) | 令和3年 | 令和2年 | 令和元年 |
| 製造業 | | 5 | 2 | 8 | 5 (1) | 2 |
| 建設業 | 4 | 14 (1) | 8 (1) | 21 (2) | 14 (3) | 10 (1) |
| 交通運輸業 | | | | | 1 | 1 |
| 陸上貨物運送事業 | 2 | 2 | 2 (1) | 2 | 5 (2) | 2 (1) |
| 港湾荷役業 | | | | | | 1 (1) |
| 商業 | 5 (1) | 2 (2) | 1 (1) | 3 (2) | 1 (1) | 1 (1) |
| 清掃・と畜業 | 3 | 1 | 3 (1) | 1 | 6 (2) | 3 (1) |
| その他 | 1 (1) | 9 (2) | 2 | 14 (5) | 6 (1) | 4 (1) |
| 合計 | 15 (2) | 33 (5) | 18 (4) | 49 (9) | 37 (10) | 24 (6) |

(注) 死亡災害把握数は、本年のみ欄外表示の日までに把握した死亡災害の件数で、()は、事故の型が「交通事故」であるものを内数で表示しています。令和元年は平成31年も含まれます。

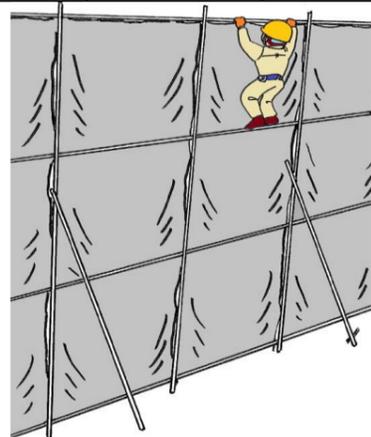
☆死亡災害の概要☆

令和4年7月末現在

| 番号 | 発生月 発生時刻 | 業種 事業場規模 | 起因物 事故の型 | 発生概要 |
|----|-------------|---------------------|------------------|---|
| 1 | 3月 | その他の建設工事業 (1次下請) | 玉掛用具 | 資材置場において、資材(約600キログラム)を移動式クレーンでつって旋回中、1本つりのワイヤロープがフックから外れて落下し、介添えロープでつり荷を誘導中だった被災者が下敷きとなった。 |
| | 9時頃 | 30人~49人 | 飛来、落下 | |
| 2 | 6月 | 建築工事業 (1次下請) | その他の仮設物、建築物、構築物等 | 2階建て木造住宅解体工事現場において、単管を格子に組んで防じん防音シートを張った仮囲いの点検中、仮囲いの水平材(単管1本)から5メートル下の地面に墜落した。 |
| | 13時頃 | ~9人 | 墜落、転落 | |
| 3 | 6月 | 建築工事業 (1次下請) | 作業床、歩み板 | 7階建てビル新築工事現場において、地面に建てた敷地境界欄に安全掲示板を取付け中、当該欄から基礎工事のため垂直に掘り下げた線までの間が49センチメートルの作業場所から、2.2メートル下の基礎底面コンクリートに墜落した。 |
| | 11時頃 | 10~29人 | 墜落、転落 | |
| 4 | 6月 | その他の建設工事業 | 環境等 | 午後8時45分ごろから個人住宅現場において足場解体作業を行っていたが、10時30分ごろに病状が悪化し、7月12日に入院先の病院で死亡、当日31.7℃、湿度59%、WBGT値2.8度(熱中症嚴重警戒レベル)※インドネシアからの技能実習生 |
| | 10時頃 | ~9人 | 高温・低温の物との接触 | |

6～7月に発生した建設業の死亡災害の概要

| 発生月 発生時刻 | 業種 発注関係 事業規模 | 起因物 事故の型 | 発生状況 災害防止のポイント |
|-------------|------------------------|--------------------------|--|
| 6月 11時頃 | 建築工事業 民間 10～29人 | 作業床、歩み板 墜落、転落 | <p>【発生状況】 7階建てビル新築工事現場において、地面に建てた敷地境界柵に安全掲示板を取付け中、当該柵から基礎工事のため垂直に掘り下げた縁までの間が49センチメートルの作業場所から、2.2メートル下の基礎底面コンクリートに墜落した。 65～69歳(1次下請)</p> <p>【災害防止のポイント】 1 高所作業における墜落防止設備(手すり、防網等)、安全带による防止措置 2 作業内容に即した作業手順の作成とその履行(基底床に設けた作業床上から作業する手順など) 3 作業者の意識的不安全行動の防止</p> |
| 6月 13時頃 | 建築工事業 民間 ～9人 | その他仮設物、建築物、構築物等 墜落、転落 | <p>【発生状況】 2階建て木造住宅解体工事現場において、単管を格子に組んで防じん防音シートを張った仮囲いの点検中、仮囲いの水平材(単管1本)から5メートル下の地面に墜落した。 (安全带不使用)20～24歳(1次下請)</p> <p>【災害防止のポイント】 1 高所作業における墜落防止設備(手すり、防網等)、安全带による防止措置 2 作業内容に即した作業手順の作成とその履行(基底床に設けた作業床上から作業する手順など) 3 作業者の意識的不安全行動の防止</p> |
| 6月 10時頃 | その他の建設工事業 民間 ～9人 | 高温・低温の物との接触 環境等 | <p>【発生状況】 午前8時45分ころから個人住宅現場において足場解体作業を行っていたが、10時30分ころに病状が悪化し、7月12日に入院先の病院で死亡、当日31.7℃、湿度59%、WBGT値28度(熱中症嚴重警戒レベル) ※インドネシアからの技能実習生20～24歳</p> <p>【災害防止のポイント】 1 塩及び飲料水を備え付けること。 2 涼しい休憩場所を確保すること。 3 暑さ指数(WBGT値)を活用し、予防対策を講じること。 4 健康管理、熱中症予防教育を実施すること。 5 緊急時の措置を定め周知徹底すること。</p> |



神奈川県労働局との情報交換会を開催

7月20日(水)ロイヤルホールヨコハマにおいて、神奈川県労働局幹部と建災防正副支部長、分会長、運営委員役員とで意見交換会を行いました。



この意見交換会は毎年実施されているものですが、本年度においては、会に先立って鹿島建設(株)横浜支店で施工する

(仮称)鶴見研修センター新築工事現場を西村労働局長はじめ労働局幹部と黒田支部長ほか役員とで見学を行い、ロイヤルホールヨコハマに会場を移動し、黒田支部長の挨拶の後、西村労働局長から挨拶をいただきました。西村局長の挨拶では、昨年の神奈川県内の建設業の労働災害で災害が多かったことにつ



いて触れ「新型コロナ禍において、経済活動の停滞がいわれていた中で、建設業における死亡労働災害が増加したことに、労働行政として強い危機意識をもっております。

一方、墜落、転落以外の死亡災害についてみると、クレーンのつり荷の下への不用意な立ち入り、壁や土砂の崩壊・倒壊、機械設備へのはさまれ・巻き込

まれ、感電、交通事故、過重労働など、さまざまな原因にて発生している。

これらの死亡災害には、安全衛生の基本が守られていなかったために発生したものが複数、含まれている。」として、労働災害を起ささないために、安全衛生の基本事項を守る、ということ徹底する必要があるとされ、さらに「今年の夏は酷暑であり、熱中症を発症するリスクが高まっており、今後とも暑さ対策をよろしく願います。



これからの季節は、台風などの強風や降雨による風水害の発生が予想されることから、当該災害そのもの

への備えを十分行うことはもちろんのこと、その自然災害による復旧工事などでは、2次災害の発生のないよう、安全な施工に努めていただく必要がある。」結ばれました。

その後、崎監督課長、千葉安全課長の説明を受けたのち、見学した現場の中山所長からスマート生産の取組という発表を受け、働き方改革への対応と労働災害防止、担い手不足への対応という目下の建設業が直面するテーマで意見交換を行いました。

正副支部長・分会長会議を開催

7月20日ロイヤルホールヨコハマにて、正副支部長分会長会議が行われました。

主な議題は①第59回全国建設業労働災害防止大会(石川)大会の開催について、②令和4年度の表彰について、③第57回神奈川県建設業労働災害防止大会開催についてです。

石川大会については、規模は多少縮小するものの現時点においては開催する意向であり、分会からの参加数を確認しました。

表彰に関しても例年どおりに行う方向で、分会の割り当て等が確認されました。

第57回の支部大会に関しては、7月7日に行われた正副運営委員長・部長会議での検討の結果、県内における新型コロナウイルス感染状況、県内における労働災害の発生状況等の情勢、会場となる県民ホールの姿勢等を確認し、慎重に検討が行われました。

結論としては、現状においても予断を許す状況ではない、従来どおりのフルでの開催は困難である。

情勢次第では中止を検討する必要もあり、当面は昨年同様表彰式を主体として参加人数を絞り、時間短縮で行う方向で準備を進める、という内容を踏まえて開催する方向で合意されました。

自然災害からの復旧・復興工事安全衛生確保支援事業のご案内

日本各地で、地震、豪雨、台風等の災害が発生しており、被害からの復旧・復興工事における安全衛生確保が課題となっています。

これまで東日本大震災等に係る復旧復興工事安全衛生確保支援事業(岩手、宮城、福島、熊本の4拠点)を実施してきており、ノウハウが蓄積されていることから、このノウハウ等を活用し、全国規模で自然災害からの復旧・復興工事の安全衛生確保を支援することを目的に、今年度から新たに全国で事業が展開されることとなりました。

I 事業の概要

1 事業の目的

近年、日本各地で地震、豪雨、台風等の災害が連続して発生しており、これまで台風による大規模な停電の発生や広範囲での記録的な大雨による災害に見舞われるなど、大規模自然災害から復旧・復興工事における安全衛生確保が大きな課題となっている。

大規模自然災害からの復旧現場は足もとが極めて悪く、さらに複数の車両系建設機械による輻輳した作業が行われるため労働災害の発生が危惧される。



これまで東日本大震災等に係る復旧・復興工事の

安全衛生確保支援事業を実施してきたが、これらにおける安全衛生確保支援などの取り組みを通じて蓄積されている安全衛生確保のノウハウ等の資源を有効に活用し、労働災害防止対策の一層の徹底を図るとともに、円滑な復旧・復興工事の推進に寄与することを目的とする。

2 事業の対象

本事業は、自然災害からの復旧・復興工事に従事する中小事業者及びその労働者を重点対象とし、また新規参入者、専門工事業者の安全衛生管理担当の責任者、総合工事業者の管理監督者等を対象とする。

なお、都道府県防災計画、災害危険箇所図(ハザードマップ)等により、危険箇所における防災工事、整備工事等を行う工事従事者についても自然災害と密接に関連す

る者として対象とする。

3 主な事業項目

- (1) 安全衛生専門家(以下、「指導員※」)による現場巡回指導
- (2) 指導員による新規参入者、管理監督者等に対する安全衛生教育支援

4 費用

令和4年度労働災害防止対策費補助金事業(申込者の負担なし)

II 実施体制

建設業労働災害防止協会神奈川支部が事業運営に関する窓口として「自然災害復旧・復興工事安全衛生神奈川支援センター」を開設する。

神奈川支援センターの指導員は建災防神奈川支部の講師(建設業関係の技能講習や石綿調査者講習等担当)や行政OB(労働局)の方を予定しています。

神奈川支援センターの事務担当は森です。

III 具体的な活動

以下の対象等からの申込みを受けて活動します。

- ・自然災害からの復旧・復興工事に従事する事業者等
- ・地方公共団体・建設団体等からの依頼等
- ・企業等の申込み

(1) 安全衛生巡回指導

リーフレットの裏面、安全衛生巡回指導・安全衛生教育等申込書を神奈川支部までご送付ください。

- ・発注者からの申込みでもかまいません。

・定例で行っている安全パトロールへの同行等でも可です。

・現場の作業員にワンポイント安全衛生教育ができます。(専用教材があります。)

事務局から担当者宛にお電話させていただき、詳しい日程、場所を確認し、適切な指導員を選任します。

神奈川支部から指導員に連絡し、現地に派遣、作業状況を把握・点検し、事業者等に対して安全衛生指導及び助言をします。

点検に当たって専用のチェックシートを作成し、指導時に現場責任者に交付します。実施後満足度等のアンケートの提出をお願いします。

(2) 安全衛生教育

リーフレットの裏面、安全衛生巡回指導・安全衛生教育等申込書を神奈川支部までご送付ください。

・発注者からの申込みでもかまいません。

・定例で行っている安全研修会等でも可です。

・基礎的な安全衛生教育と管理監督者等に対する安全衛生教育ができます。

・基礎的な安全衛生教育の対象者は、建設業の基礎的な安全衛生教育を必要とする者や建設業以外の業種から参入してきた者で、時間の目安は60分です。

・管理監督者等に対する安全衛生教育は自然災害からの復旧・復興工事に従事する者で、店社の安全衛生の管理監督者、現場所長、現場代理人、安全衛生の業務等を行う者が対象で、時間の目安は120分です。

(いずれの教育も専用教材があります。)

事務局から担当者宛にお電話させていただき、詳しい日程、場所を確認し、適切な指導員を選任します。

神奈川支部から指導員に連絡し、現地に派遣、教材等により安全衛生教育を実施します。

実施後満足度等のアンケートの回収をお願いします。

(3) 安全講話

リーフレットの裏面、安全衛生巡回指導・安全衛生教育等申込書を神奈川支部までご送付ください。

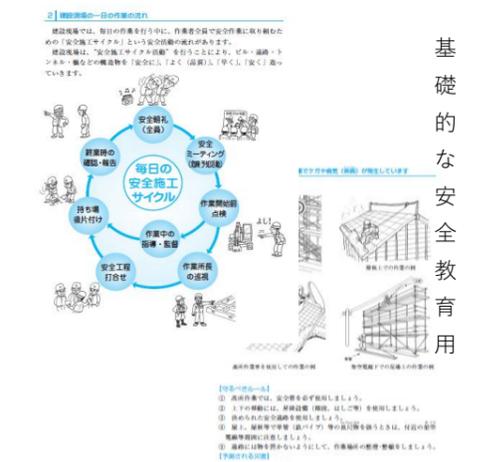
・発注者からの申込みでもかまいません。

・定例で行っている安全研修会等でも可です。

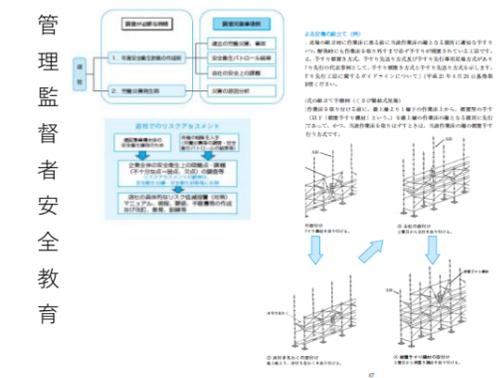
事務局から担当者宛にお電話させていただき、詳しい日程、場所を確認し、安全講話のテーマ等をお聞きした上で適切な指導員を選任します。(テーマによってご期待に添えないことがあります。)

神奈川支部から指導員に連絡し、現地に派遣、教材等により安全衛生教育を実施します。

実施後満足度等のアンケートの回収をお願いします。



基礎的な安全教育用



| 神奈川支援センター(宛 FAX 045-201-7758) FAXでお送りください。 | |
|--|--|
| 安全衛生巡回指導・安全衛生教育等申込書 | |
| 申込者の所属等 | 事業場名 所属/役職名 所在地 〒 _____ TEL _____ 業種等 <input type="checkbox"/> 総合工事 <input type="checkbox"/> 専門工事(土木・建築) <input type="checkbox"/> 設備工事 <input type="checkbox"/> その他() |
| 申込者の氏名 | 氏名 _____ TEL _____ |
| | 住所 _____ |
| 現場(工事)名 | 元 語 名 _____ |
| | 発注者 <input type="checkbox"/> 1.建設庁(国・県・市町村) <input type="checkbox"/> 2.民間 工事の種類 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 土木 <input type="checkbox"/> 設備 <input type="checkbox"/> その他() |
| 現場所在地 | 〒 _____ TEL _____ |
| 申込日時 | 令和 ____年 ____月 ____日 ____ AM ____ PM 時~ |
| ワンポイント安全衛生教育 | <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない |
| 安全衛生教育 | <input type="checkbox"/> 基礎的な安全衛生教育 第1回 令和 ____年 ____月 ____日 ____時~ 受講予定者 ____人 第2回 令和 ____年 ____月 ____日 ____時~ 受講予定者 ____人 |
| | <input type="checkbox"/> 管理監督者等に対する安全衛生教育 第1回 令和 ____年 ____月 ____日 ____時~ 受講予定者 ____人 第2回 令和 ____年 ____月 ____日 ____時~ 受講予定者 ____人 |
| 安全講話 | 第1回 令和 ____年 ____月 ____日 ____時~ 受講予定者 ____人 第2回 令和 ____年 ____月 ____日 ____時~ 受講予定者 ____人 |
| | 講習を実施する会場 <input type="checkbox"/> 各現場内に講師が対応可能 会場名を記入してください() |
| お問い合わせ | (注) 申込みをご記入いただいた個人情報は、安全衛生巡回指導等の実施のために使用すのみであり、申込者及び受注者の同意なしにこの事業の目的以外に使用することはありません。 新型コロナウィルス感染拡大防止対策として、事業の自粛あるいは事業を中止することがあります。届出は関係機関へお任せください。 |